



振袖を着せてもらう生徒

和服の良さ見直した 狛江高校で体験授業

日本の伝統文化の和服を体験学習する授業が12月12日(日)に都立狛江高校で行われた。

「人間と社会」について学ぶ総合的な学習の地域授業の一環で、体育館で一年生約320人を対象に、「元気なパラリンピック応援団inこまえ」(芳賀美代表)の会員が講師となり、和服に関する講義と着付け体験などを行った。昨年度初めて実施されて好評だったため、2回目の開催となった。

辻村顧問による特徴やTPOなど和服に関する講義、車イス利用者に和服を着せるデモンストレーションに続いて男女16人の生徒が振袖、黒留袖、訪問着、紬などを着て館内に設けられたランウェイを歩き、同級生から大きな拍手を浴びていた。モデルになった生徒は「思ったより動きやすい」「また着てみたい」と喜んでいました。芳賀会長は「生徒たちが熱心に授業を受けてくれて良かった」と話していました。

海底火山噴火のトンガ王国 ラグビー協会が義援金贈る

昨年1月の海底火山の爆発で被害を受けたトンガ王国に狛江市ラグビーフットボール協会(富永幸伸会長)が被災者に向けた義援金を贈った。同協会と狛江市教育委員会が11月13日(日)にえきまえ広



富永会長(左)とマンガシ大使

場で催した「令和4年度狛江市民まつりストリートラグビー体験会×トンガ王国チャリティイベント」で集めたもの。

12月14日(日)に市役所を訪れた駐日トンガ王国のテヴィタ・スカ・マンガシ大使に富永会長から義援金15万円を手渡した。

松原俊夫市長や柏原聖子教育長も同席、これを機会にラグビーを通して相互交流したいと話していた。

一小が150周年式典 長い歴史に思い新た

狛江第一小学校の創立150周年といずれも学級開設60周年を祝う式典が1月14日(日)に6年生の児童など関係者約300人が出席しエコルマホールで催され、同小の長い歴史に思いを新たにしていた。

式典では川崎貴志統括校長が一小の歩みを披露するとともに「持続可能な社会を実現し、問題解決ができる子どもたちを育てるとともに、次の200周年に向けて踏み出したい」と挨拶。来賓の松原俊雄市長、谷田部一之市議会議長、柏原聖子教育長が祝辞を述べた。能楽師中村昌弘さんと同小2年生の甲賀優月さん、野村遙花さんによる祝いの仕舞、6年生の鼓笛演奏による校歌と市の歌が式典に華を添えた。新調した校旗が贈呈されたほか、ロビーに児童全員の絵画などが展示された。



新調した校旗を贈呈

狛江からJリーガー誕生 ロアッソ熊本の豊田選手

狛江出身のJリーガーとなったJ2ロアッソ熊本の豊田歩選手(22、背番号21)が1月5日(日)に市役所を訪れ、松原俊雄市長に活躍を誓った。

豊田選手は緑野小学校、狛江第一中学校を経て国学院大学久我



松原市長(左)と豊田選手

山高校、中央大学に進んだ。この間、緑野小のサッカークラブ「N.W.F.C」を振り出しに横河武蔵野FC、久我山高、中央大でMFとして活躍した。

川崎フロンターレで活躍した中央大の先輩中村憲剛さんが目標という豊田選手は「小学一年の頃から夢だったプロになれてうれしい。8年後のW杯日本代表になるのが目標」と語り、松原市長は「夢の実現に向けてがんばってください。近くで試合がある時はぜひ応援に行きたい」と激励した。

三中伝統の銀杏募金 狛江市へ初めて寄贈

狛江第三中学校(工藤聡校長)が銀杏募金で集めた65,309円を狛江市へ贈った。募金は今回が32回目で市に贈られるのは初。

校庭のイチョウから採った銀杏を使って、11月の3日間、地域貢献委員の生徒が狛江駅前街頭募金を行った。

12月20日(日)に同委員会委員長の杉崎百音さん(3年)、長谷川誠拳さん(同)、高間そよさん(2年)らが市役所を訪れ、松原俊雄市長に募金を手渡した。

杉崎さんたちは「街頭でたくさんの人から声をかけてもらい、多くの市民が活動を支えているのがわかり、うれしかった」と話した。松原市長は「初めて市を選んでもらい、感謝とともに責任を重く感じます。よく検討して大切に使います」と礼を述べていた。



松原市長(左)に募金を手渡す三中の生徒たち

こまえくぼ 1234 からのお便利

今月のこまえくぼ

休館日=7日(日)、11日(土)、14日(日)、21日(日)、23日(日)、28日(日)

フリースペースイベント

フリースペースで行われる参加できるプログラム

■おりがみサロン

1日(日)午後1時~3時。折り紙でボランティア活動、交流

■切手カフェ

10日(土)・17日(土)午後1時~3時。古切手の整理

■福祉カレッジ2022受講生による 地域活動に関する展示

こまえがおmini

市民が取材・執筆する記事

令和元年の開局当時から狛江市のコミュニティラジオ、こまえエフエム「コマラジ」でパーソナリティとして活躍中の低音ボイスが魅力の野崎淳之介さん(50代)。毎週月、金曜日の午前8時~11時に「KOMAE AM」という情報番組を担当しています。番組では、野崎さんいわく「人生、アート」なゲストを迎えて話を聞いているのですが、野崎さん自身、声の仕事以外にイラストレーター、トレジャーハンターという肩書を持つ、正に「人生、アート」な人です。

子どもの時から絵を描くのが好きだった野崎さんは、独学でイラストレーターになったそうです。かわいらしいキャラクター、優しい温かみのある風景画、桃太郎や白雪姫などの昔話をパロディーに書き直し、イラストを全編白黒で描いた「よい子の童話集」などジャンルは多彩です。

ここに掲載している情報についてはこまえくぼ1234へお問い合わせください。

5日(日)まで。受講生が身近な地域課題、福祉課題を解決するために考えた地域活動を提案する展示

ボランティア募集

■視覚障がい者(女性)のガイドボランティア募集(資格問わず)

学習会のため狛江市から会場がある川崎市川崎区までの行き、帰りのガイド(片道約90分)。電車利用。①2月22日(日)行き、帰り(どちらかでも可)②3月1日(日)行き③3月8日(日)行き、帰り(どちらかでも可)。行き=朝に駅集合・出発。帰り=夕方現地出発、到着・解散。初めての人も事前にガイド方法の説明を行う ※詳細は問い合わせ

おもいをカタチに

こまえくぼ1234が市民、市民活動団体を対象に主催、共催する事業

■学ぼう@こまえくぼ 団体向け講座「カリスマ講師に学ぶ ボランティア・市民活動団体のための人が集まるチラシと広報のコツ」

3月5日(日)午前10時~正午(11時)ボランティア・市民活動団体、地域活動団体、興味のある人(定員20人(手話通訳、要約筆記あり))無料参加申込書に必要事項を記載してFAX、または申込フォーム(右の2次元コード)から



「コマラジ」パーソナリティ ●野崎淳之介さん イラストレーター

「人生はアートだ」



野崎さん

また、古いもの、特に和のものに興味があり、掛け軸、陶器等300以上を収集、自宅はまるで美術館のようだとか。以前遺跡発掘の仕事に携わっていたことも。その現場で、「朝礼の挨拶の声音がいいね、声の仕事ですればいいのに」と同僚に言われ、ラジオ好きもあってラジオDJの募集に挑戦。簡単には採用されませんでした。あきらめずに基礎が大切と1年間専門学校へ通い、本格的にラジオの世界へ。半蔵門にある音楽専用デジタルラジオ局

「ミュージックバード」で深夜ラジオのパーソナリティを10年ほど務めた後、縁あってコマラジのパーソナリティになりました。三鷹市在住で狛江には初めて来たそうですが、「多摩川の自然は素晴らしい、市内全体に起伏がないので散歩しやすい。コーヒーが好きなのですが、泉龍寺で開催された珈琲参道に2日間通いましたよ」と、狛江の魅力を発見しているようです。

コマラジの番組の中で、10分程度の宮沢賢治や太宰治の作品を朗読するコーナーを持つ野崎さんは、朗読の活動もされています。いつか自身の絵をプロジェクターで投影して朗読会を開きたいそうで、「子どもたちも参加できるような作品を選べたら」と楽しそうに話していました。

Facebookはこちら→
●こまえくぼ1234では、昨年に引き続き「野崎淳之介作品展」を12日(日)~26日(日)に開催します。(取材記事:こまえくぼ広報部(会市川))



狛江市市民活動支援センター(こまえくぼ1234)

〒201-0003 狛江市和泉本町1-2-34 ☎5761-5556 FAX5761-5033 info@vc.komae.org
開館時間 午前10時~午後5時 休館日=火曜日、祝日、年末年始(開館は1月4日(日)から)

ホームページ
はこちら→

